

施工工事・配線をされる方へ

3G回線停波対応用

ルータ設置/交換手順書

2026年3月31日までに実施してください。



※ ご使用されている 3G 回線が停波するため、
 LTE 回線に対応したルータの設置/交換が必要です。
 ※ イラストの一部が実際の納品物と異なる場合があります。

目次

施工方法は、既設の構成によって異なります。 「施工方法の確認 (P.6)」にて、 (A / B) / (C)のいずれに該当するかをご確認ください。 また、本書では (A / B) / (C)を該当ページの上部に記載しています。

はじめ	に・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	P.1
安全上	のこ	:注	意	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	P.2
施工上	のこ	:注	意	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	P.3
ZERO、	ΤN	ルー	-5	₹ (i	吏戶	₱_	Ŀ٩	の	ご	注	意	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	P.3
準備が	必要	な	ŧΟ	D	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	P.4
送付物	の確	認	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	P.5
施工方	法の	確	忍。	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	P.6
施工・	••	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	▲ P.7 ~ 13
																															B P.14 ∼ 21
																															C P.22 ~ 25
こんな	とき	は	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	P.26
(付録)	ΤN	ルー	_/	<i>ک</i> ک	Dł	喿亻	乍	手	順	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	P.27
(付録)	ΤN	ルー	_/	を作	士村	漾	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	P.28



はじめに

本書は、3G回線停波対応用のルータの設置/交換とアップロードの確認(※)を行うための手順書です。 標準的な内容となるため、実際に施工される際には、発電所個別の構成に応じてお客様の責任で実施 ください。本設置/交換によって生じた損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。

(※)事前にL・eye 監視画面をご確認ください。

 PCS 状況が「正常」になっているか
 Web カメラの映像が表示されているか(Web カメラボタンがある場合)
 PCS 状況が「正常」になっていない場合や、Web カメラの映像が表示されていない場合は、「こんなときは(P.26)」を参照し、事象を解消した上で本書の作業を行ってください。
 ルータの設置/交換後に改めて PCS 状況「正常」、Web カメラの映像が表示されていることを確認し、施工完了となります。計測設定は変更しないため、計測値の確認は行いません。

■ 本書で使用する用語

・ルータ

➡既設ルータ(M2M ルータ/T2 ルータ)、新たに設置/交換するルータ(TN ルータ)の総称



既設ルータ

新たに設置/交換するルータ



Solar Link ZERO Terminal

Solar Link ZERO -T1 TER

Solar Link ZERO -T2 SUI

- 計測対象機器
 - ➡パワーコンディショナやマルチメータなど、ZERO やルータに接続して計測・通信する機器 表示用機器の Web カメラも含みます。
- ・計測システム
 - ➡ ZERO やルータ、収納ボックス、収納ボックス内機器などの弊社が納品する機器の総称

② 照 と記載された部分では、別紙の内容もあわせてご確認ください。

Solar Link ZERO -T3

A / B / C 安全上のご注意

以下の条件および事項を守らずに発生した故障や破損については保証対象外となります。

■ 使用条件

計測システムを次のような場所には設置しないでください。 感電、漏電、火災、計測システムの故障や破損の原因になります。

- ・湿気や埃が多い場所
- ・直射日光、雨が当たる場所
- ・最高気温が40℃を超える場所
- ・熱の発生する場所(ストーブ・ヒーターなど)の近く
- ・塩害地域(塩害保証付きの商品は除く)
- ・海外(日本国内専用です)

■ 取り扱いに関する事項

次の事項を守らなければ、感電、漏電、火災、計測システムの故障や破損の原因になります。 また、計測システムの不適切な使用により、万一損害や逸失利益などが生じた場合につきましては、 一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

万一、計測システムから異音、異臭、発煙などの異常が発生した場合は、直ちに電源の供給を断ち、 裏表紙の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

- 計測システムの分解、改造、修理を行わないでください。
 また、本紙で示す以外の変更を行わないでください。
- ・計測システムの内部に水や異物を入れないでください。
- ・濡れた手で計測システムに触らないでください。
- ・必要以上に電源コードを折り曲げたり、はさんだり、傷つけたりしないでください。
- ・ 指定の AC アダプタまたは電源ユニット以外は使用しないでください。
- ・計測システムの配線・電源プラグは確実に挿し込んでください。

▲ 注意 取扱を誤った場合、傷害を負うまたは物的損害が生じる可能性があります。

- ・計測システムに落下や衝撃などの強い振動を与えないでください。
- ・計測システムを他の用途で使用しないでください。

■ 点検・メンテナンスに関する事項

ZERO やルータ、電源ユニットまたはその周辺を少なくとも年に一度定期的に掃除することを推奨します。

掃除する際は電源の供給を断ってから実施してください。

収納ボックスがある場合は、ボックスに変形などがなく、内部の機器が保護されているかを確認してく ださい。

■ 医療機関での使用に関する事項

医療機関における計測システムの使用については、各医療機関の指示に従ってください。



施工上のご注意

- ・施工や点検は第二種電気工事士以上の資格を持つ方が行ってください。
- ・太陽光発電の場合は、発電可能な日中に計測システムの動作・計測の確認を行ってください。
- ・設置場所に必要な電源があることをご確認ください。
- ・収納ボックス内には、必要に応じてブレーカを設置してください。
- ・NTT ドコモの携帯電話回線(LTE 回線)が安定して届く位置であることをご確認ください(電波強度の確認方法は施工の手順中に記載しています)。

ZERO、TN ルータ使用上のご注意

- ・ZEROやTNルータの使用中にいきなり電源の供給を断たないでください。
- ・メンテナンス時以外は、ZERO に USB メモリを挿したままにしないでください。
- ・ZEROやTNルータをお使いにならない場合は、正しい手順で停止させ、電源プラグを抜き、主電源のブレーカも落としてください。
- ZEROやTNルータには計測やデータアップロードに必要な設定や情報が書き込まれています。
 これらはお客様からお申込みいただいた情報をもとに設定を行っておりますので、予定の発電所以外では使用できません。

▲/圖/℃ 準備が必要なもの

設置/交換作業

以下の工具・部材をあらかじめご用意ください。

- ・設置/交換用工具
- TN ルータ用の取り付け部材(参考:取り付け穴(4箇所)のサイズΦ4.5mm)
- ・送付物に HUB がある場合は、HUB 用の取り付け部材(付属のマグネットで設置できない場合)
- TN ルータ用、送付物に HUB がある場合は HUB 用の電源供給口(必要な場合)
 ※ 盤内のコンセントに空きがない場合は、電源タップをご用意ください。
 ※ 盤内にコンセントが無い場合は、必要に応じて電源線の引き込みなどを行ってください。

L・eye 監視画面の閲覧

ルータ設置/交換後に、アップロードが正しく行えているか L・eye 監視画面で確認します。 L・eye 監視画面を閲覧するために、以下のものはお客様でご用意ください。

• Windows PC

対応 OS	: Windows11
対応 Web ブラウザ	:Google Chrome / Microsoft Edge / Mozilla Firefox いずれも最新版
画像解像度	:1280 × 1024 pixel 以上を推奨(1024 × 768 pixel でも使用可)

- ・インターネットへの接続
- ・L・eye 監視画面ログイン情報(以下、ログイン情報)



L・eye 監視画面ログイン情報

・Web カメラ認証情報(L・eye 監視画面に<mark>▶Webカメラ</mark> ボタンが表示されている場合)



Web カメラ認証情報



送付物の確認

下記の機器を弊社からお送りしております。ご確認の上、作業当日に必ず現地へお持ちください。 (※)お申込み内容に応じて送付します。

・TNルータ



盤外設置向け

・TN ルータ用の電源

既設 ZERO に応じて送付します。 既設 ZERO がない(T2 ルータのみ)の場合は送付しません(既設の電源を使用するため)。

既設 ZERO が以下のいずれかの場合 Solar Link ZERO Terminal Solar Link ZERO -T1 TER Solar Link ZERO -T3



AC アダプタ

約 120cm または 150cm ※出荷時期により異なります。

・HUB(5 ポート、AC100V)(※)

 ・既設 ZERO のソフトウェア更新用 USB メモリ 発電所の構成・設定に応じて送付する場合が あります。
 ソフトウェアは発電所に設置されている ZERO ごとに固有の設定をしています。
 他の発電所では使用できません。
 また、同一発電所でも過去に送付した USB メモリは使用できません。

既設 ZERO が以下の場合 Solar Link ZERO -T2 SUI

アンテナ(※)



DC プラグ分配ケーブル

約 44cm ※コネクタ部分含まず

・LAN ケーブル(1m)(※)

 その他機器 お申込み時に追加機器の希望があった場合のみ 送付します。
 本書では、機器個別での設置/交換手順は記載 していません。

A / B / C 施工方法の確認

既設構成に応じて (A) / B) / C のいずれに該当するかをご確認ください。



HUB の有無は現地の構成により異なります。

🗛 施工:新たに TN ルータを設置

既設 ZERO:停止



A

① タクトスイッチを6秒以上長押しした後、離します。

② LED を確認します。

ST1 LED (赤)が点滅した後、PW LED (緑)のみ点灯している状態が 15 秒以上続いたことを確認します。

※ ZERO が停止している間は計測されません。

③ 電源プラグ、電源コードを抜きます。またはサーキットプロテクタを OFF(緑)にします。

既設 ZERO:電源断

既設 ZERO の電源供給元のブレーカを「切・OFF」にします。 ※ブレーカを落とさずに作業した場合、感電や機器故障の原因となります。

既設 ZERO:アンテナの取り外し

 (\mathbf{A})

既設 ZERO に接続されているアンテナのみ取り外します。 ※ その他ボックス内の機器、RS-485 ケーブルは取り外さないでください。 ※ 取り外したアンテナは後の手順で TN ルータに取り付けます。



TN ルータ:アンテナの取り付け

① アンテナを TN ルータに接続します。



② アンテナ位置を調整し、電波が安定して届く場所を探します。

電波強度の確認方法は「TN ルータ:電源の供給(P.10)」をご参照ください。

③ 場所が決まったらアンテナを取り付けます。

TN ルータ:取り付け

配線やアンテナの接続のため、TN ルータの周囲には下図を目安に離隔距離をとり、取り付け用部材で 固定します。

※ ネジで固定する場合、中板に既にあるネジ穴は 位置が違う、または、固定しにくいため使用し ないでください。





(A)

LAN ケーブルの接続

既設 ZERO と TN ルータを LAN ケーブルで接続します。



TN ルータ:電源の供給

 (\mathbf{A})

① TN ルータの電源供給元のブレーカを「入・ON」にします。



③ 送付物に「HUB」がある場合は、HUB の電源を AC100V に、電源プラグを HUB に挿します。



既設 ZERO:電源の供給とソフトウェア更新



① 既設 ZERO の電源供給元のブレーカを「入・ON」にします。

 送付物に「既設 ZERO のソフトウェア更新用 USB メモリ」がある場合は、既設 ZERO に USB メモリを挿入します。

※ TN ルータには挿入しないでください。

- ※ USB メモリは発電所に設置されている ZERO ごとに固有の設定をしています。複数の ZERO があり、USB メモリに発電所名などのシールが貼付されている場合は、該当の ZERO に割り当てられたものをご使用ください。
- ・③ 既設 ZERO に電源プラグ、電源コードを挿します。またはサーキットプロテクタを ON(赤) にします。

※ ZERO には電源スイッチはありません。電源を供給すると起動します。

④ 既設 ZERO の LED の状態を確認します。

 (\mathbf{A})

3G回線の電波が切れていること、正常に計測していることを確認します。

LED	PW	ST1	ST2	RX1/RX2	TX1/TX2	3G MOBILE
正常な状態	点灯	消灯	点滅		盒藏	消灯

※ST2の点滅間隔は計測対象機器や台数によって異なります(6~60秒に1回)。

※RX1 および TX1 は計測対象機器と RS-485 通信を行う場合にのみ点滅します。 RS-485 通信でも計測対象機器にデータを送信をしない通信方式の場合、TX1 は完全に消灯します。 Solar Link ZERO-T3 の場合、RX2 および TX2 は内部バスの通信状態を示します。カード使用時 は交互に点滅します。

⑤ USB メモリを挿入した場合は、USB メモリを抜きます。

※ USB メモリは必ず ZERO から抜いて大切に保管してください。

アップロードの確認:L・eye 監視画面

インターネット経由で閲覧できる計測画面です。

① Web ブラウザを立ち上げます。

② 一括監視画面 URL を入力して、Enter キーを押します。

※ 一括監視画面 URL は、「ログイン情報(P.4)」に記載されています。 ※ 一括監視画面 URL は、画面ごとに異なります。

※ 右図のようなページが表示される場合は、右上の「ログ アウト」をクリックし、再度一括監視画面 URL を入力し てください。

③ ID とパスワードを入力し「ログイン」をクリックします。

- ※ ID とパスワードは、「ログイン情報 (P.4)」に記載されています。
- ※ 事前に ID・パスワードを変更されている場合は、変更後の ID・パスワードでログインしてください。
 ※ 変更後の ID・パスワードを忘れてしまった場合は「ログインできないとき」から、ID・パスワードをリセットできます。

④ 既設 ZERO、TN ルータに電源供給をしてから 30 分以上(※) 経過していることを確認します。

- ※ 更新停止検出設定の内容に準じます。 詳細は『L・eye 監視画面 取扱説明書《設定編》』をご確認ください。
- ⑤ PCS 状況が「正常」になっていることを確認します。

「正常」になっていない場合 ➡「こんなときは(P.26)」参照

別紙	L・eye 監視画面の詳細は『L・eye 監視画面 取扱説明書』をご確認ください。
	URL: https://www.lapsys.co.jp/support/Leye/index.html#manual



5.4 kv

QRコード

以上で(A)の施工は完了です。

G Google	× +
$\ \ \leftarrow \ \ \rightarrow \ \ C$	G Google で検索するか、URL を入力してください
Googleについ	יד גרד

ユーザ綺麗へ	סלדלים
登録コード	
96	
登録コードを入力し、登録ボタンをクリックしてください。	
サイト一覧	

∎ ID パスワード	ENLAKING 1
ログインできないとき	ロヴイン

▶ PCS1

🗲 現在の発電電力

PCS状況

A

<mark>B</mark> B施工:M2M ルータを TN ルータに交換

既設 ZERO:停止



① タクトスイッチを6秒以上長押しした後、離します。

② LED を確認します。

【Solar Link ZERO -T2 SUI】 【Solar Link ZERO -T1 TER】 ST1 LED (赤)が点滅した後、PW LED(緑)のみ点灯している状態が 15 秒以上続いたことを確認します。

【Solar Link ZERO Terminal】 ST2 LED (赤)が消灯した後、約 30 秒続いたことを確認します。

※ ZERO が停止している間は計測されません。

③ 電源プラグを抜きます。

M2M ルータ:停止

AC アダプタを抜きます(電源ボタンはありません)。

電源断

既設 ZERO、M2M ルータの電源供給元のブレーカを「切・OFF」にします。 ※ブレーカを落とさずに作業した場合、感電や機器故障の原因となります。

M2M ルータ:取り外し

※ その他ボックス内の機器、RS-485 ケーブルは取り外さないでください。 ※ 取り外したアンテナ、LAN ケーブルは後の手順で TN ルータに取り付け、接続します。



B

① アンテナを TN ルータに接続します。



② アンテナ位置を調整し、電波が安定して届く場所を探します。

電波強度の確認方法は「TN ルータ:電源の供給(P.18)」をご参照ください。

③ 場所が決まったらアンテナを取り付けます。

TN ルータ:取り付け

配線やアンテナの接続のため、TN ルータの周囲には下図を目安に離隔距離をとり、取り付け用部材で 固定します。







LAN ケーブルの接続

既設 ZERO と TN ルータを LAN ケーブルで接続します。



B

TN ルータ:電源の供給

B

① TN ルータの電源供給元のブレーカを「入・ON」にします。



③ 送付物に「HUB」がある場合は、HUB の電源を AC100V に、電源プラグを HUB に挿します。



既設 ZERO:電源の供給とソフトウェア更新



B

① 既設 ZERO の電源供給元のブレーカを「入・ON」にします。

 送付物に「既設 ZERO のソフトウェア更新用 USB メモリ」がある場合は、既設 ZERO に USB メモリを挿入します。

※ TN ルータには挿入しないでください。

※ USB メモリは発電所に設置されている ZERO ごとに固有の設定をしています。複数の ZERO があり、USB メモリに発電所名などのシールが貼付されている場合は、該当の ZERO に割り当てられたものをご使用ください。

③ 既設 ZERO に電源プラグを挿します。

B

※ ZERO には電源スイッチはありません。電源を供給すると起動します。

④ 既設 ZERO の LED の状態を確認します。

正常に計測していることを確認します。

LED	PW	ST1	ST2	RX1/RX2	TX1/TX2	3G MOBILE
正常な状態	点灯	消灯			点藏	消灯

※ST2の点滅間隔は計測対象機器や台数によって異なります(6~60秒に1回)。

※RX1 および TX1 は計測対象機器と RS-485 通信を行う場合にのみ点滅します。

RS-485 通信でも計測対象機器にデータを送信をしない通信方式の場合、TX1 は完全に消灯します。 ※ Solar Link ZERO Terminal の場合、ST1 および ST2 は LED の色が異なります。また、RX は

RXD、TX は TXD と表記されています。

※3G MOBILE は、Solar Link ZERO Terminal および Solar Link ZERO -T1 TER にはありません。

USB メモリを挿入した場合は、USB メモリを抜きます。

※ USB メモリは必ず ZERO から抜いて大切に保管してください。

アップロードの確認:L・eye 監視画面

インターネット経由で閲覧できる計測画面です。

① Web ブラウザを立ち上げます。

② 一括監視画面 URL を入力して、Enter キーを押します。

※ 一括監視画面 URL は、「ログイン情報(P.4)」に記載されています。 ※ 一括監視画面 URL は、画面ごとに異なります。

※ 右図のようなページが表示される場合は、右上の「ログ アウト」をクリックし、再度一括監視画面 URL を入力し てください。

③ ID とパスワードを入力し「ログイン」をクリックします。

- ※ ID とパスワードは、「ログイン情報 (P.4)」に記載されています。
- ※ 事前に ID・パスワードを変更されている場合は、変更後の ID・パスワードでログインしてください。
 ※ 変更後の ID・パスワードを忘れてしまった場合は「ログインできないとき」から、ID・パスワードをリセットできます。

④ 既設 ZERO、TN ルータに電源供給をしてから 30 分以上(※) 経過していることを確認します。

※ 更新停止検出設定の内容に準じます。 詳細は『L・eye 監視画面 取扱説明書《設定編》』をご確認ください。

⑤ PCS 状況が「正常」になっていることを確認します。

「正常」になっていない場合 ➡「こんなときは(P.26)」参照

別紙	L・eye 監視画面の詳細は『L・eye 監視画面 取扱説明書』をご確認ください。
の思	URL: https://www.lapsys.co.jp/support/Leye/index.html#manual



5.4 kv

 $QR \sqsupset - F$



▶ PCS1

∮ 現在の発電電力

/ PCS状況

ログイン

以上で Bの施工は完了で	゙゚す	0
-----------------	-----	---

G Google	× +
$\leftrightarrow \rightarrow c$	G Google で検索するか、URL を入力してください
Google(こつい	יד גאד

B

ユーザ仰照へ	ログアウ
型録コード	
5219	
登録コードを入力し、登録ボタンをクリックしてください。	
サイト一覧	

.....

🛔 ID 🔒 バスワード

ログィンてきないとき



○施工:T2 ルータを TN ルータに交換

T2 ルータ:停止

 (\mathbf{C})



T2 ルータ:電源断

T2 ルータの電源供給元のブレーカを「切・OFF」にします。 ※ブレーカを落とさずに作業した場合、感電や機器故障の原因となります。

T2 ルータ:取り外し

※ その他ボックス内の機器、RS-485 ケーブルは取り外さないでください。 ※ 取り外したアンテナ、LAN ケーブルは後の手順で TN ルータに取り付け、接続します。



TN ルータ:アンテナの取り付け

① アンテナを TN ルータに接続します。



アンテナ位置を調整し、電波が安定して届く場所を探します。

電波強度の確認方法は「TN ルータ:電源の供給(P.24)」をご参照ください。

③ 場所が決まったらアンテナを取り付けます。

TN ルータ:取り付け

配線やアンテナの接続のため、TN ルータの周囲には下図を目安に離隔距離をとり、取り付け用部材で 固定します。







 \mathbf{C}

<mark>C</mark> TN ルータ:LAN ケーブルの接続

T2 ルータから取り外した LAN ケーブルを、TN ルータに接続します。



TN ルータ:電源の供給

① TN ルータの電源供給元のブレーカを「入・ON」にします。



アップロードの確認:L・eye 監視画面

インターネット経由で閲覧できる計測画面です。

① Web ブラウザを立ち上げます。

② 一括監視画面 URL を入力して、Enter キーを押します。

※ 一括監視画面 URL は、「ログイン情報(P.4)」に記載されています。 ※ 一括監視画面 URL は、画面ごとに異なります。

※ 右図のようなページが表示される場合は、右上の「ログ アウト」をクリックし、再度一括監視画面 URL を入力し てください。

③ ID とパスワードを入力し「ログイン」をクリックします。

※ ID とパスワードは、「ログイン情報 (P.4)」に記載されています。

※ 事前に ID・パスワードを変更されている場合は、変更後の ID・パスワードでログインしてください。
 ※ 変更後の ID・パスワードを忘れてしまった場合は「ログインできないとき」から、ID・パスワードをリセットできます。

④ TN ルータに電源供給をしてから 2 ~ 3 分経過していることを確認します。

⑤ ▶Webカメラ ボタンをクリックし、Web カメラの映像が表示されることを確認します。

ユーザー名とパスワードの入力を求められます。「Web カメラ認証情報(P.4)」に記載されている情報を入力してください。

表示されていない場合 ➡「こんなときは(P.26)」参照



Web カメラ画面の詳細は『L・eye 監視画面 取扱説明書 別冊《Web カメラ》』 をご確認ください。

URL: https://www.lapsys.co.jp/support/Leye/index.html#manual







登録コード			
	5212		

∎ ID	2NLARCIDE1	
ログインできないとき		ログイン

▲/圖/℃ こんなときは

改善しない場合は、裏表紙の「お問い合わせ先」までご連絡ください。



A/B/C

(付録)TN ルータの操作手順

正常な状態の LED は施工の手順中に記載しています。 TN ルータの使用中にいきなり電源の供給を断たないでください。

TN ルータの起動

① 電源の供給と同時に起動します。

※ 電源スイッチはありません。

※停止状態から起動する場合は、電源プラグを抜き挿しし電源の供給をしてください。

※ 電源断後は 10 秒程度の間隔を空けてから電源を供給してください。

TN ルータの停止と電源断 (1) TN ルータの左側面にある停止操作ボタンを 6秒以上長押しした後、離します。 停止操作ボタン O 左側面 ② 停止操作ボタンを離すと ST1 LED (赤) が点滅し ます。 PW 888 正面 PW LED(緑)のみ点灯している状態が 15 秒以 上続くこと(停止状態)を確認し、電源プラグ ST を抜きます。 TN Router ST2 PW 電源プラグ

TN ルータの再起動

① TN ルータの停止操作ボタンを約3秒長押しした後、離します。

※停止操作ボタンを押す時間で再起動となるか停止となるかが変わります。 ※TNルータの再起動には数分かかります。

▲/圖/℃ (付録) TN ルータ仕様

プロセッサ	Broadcom BCM2711
CPU	Quad-core Cortex-A72 (ARM v8) 64-bit
動作周波数	1.5 GHz
RAM	1 Gbyte LPDDR4-3200 SDRAM / 4 Gbyte LPDDR4-3200 SDRAM
記憶装置	8 Gbyte eMMC / 32 Gbyte eMMC
Ethernet	有線 10 BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T(RJ-45)
携帯電話網	特定無線設備の種別: 第2条第11号の19 モデル名: AMM574A
	工事設計 認証番号: R 003-190181 技術基準適合自己確認番号: T D190148003
RTC	時計・カレンダー機能、バックアップ用2次電池 搭載
汎用入力	停止操作ボタン x 1(再起動 または 終了前に押下)
電源	DC5V 0.5A(最大 2A)
使用温度範囲	-20~60℃(湿度 85%RH 以下 結露なきこと)
保存温度範囲	-20~60℃(湿度 85%RH 以下 結露なきこと)
外形寸法	W. 152 x D. 102.4 x H. 46.6〔mm〕(突起を除く)
ケース材質	ABS 樹脂 難燃性グレード UL94-V0
ケース色	PANTONE:3145C 相当
本体重量	約 300 g

改訂履歴

改訂日	内容
2024/10/11	新規作成
2024/11/13	事前に PCS 状況の確認が必要な旨を追記。
	PCS 状況に応じた確認内容を「こんなときは」に移動。記載内容見直し。
2025/01/24	TN ルータの操作手順を追記。
	既設 ZERO の 3G 回線が切れたことを確認する手順を追記。
2025/04/11	構成見直し。
	€ のアップロード確認方法を変更。
	「こんなときは」に更新停止が頻発する場合、Web カメラがある場合を追記。

メモ

株式会社 ラプラス・システム

〒 612-8083 京都市伏見区京町 1-245 https://www.lapsys.co.jp/

お問い合わせはこちら

導入後のメンテナンス・アフターフォロー、その他ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。

コールセンター

TEL:075-634-8073

お問い合わせフォーム

https://contacts.laplaceweb.com/contacts/